



秋田県立能代高等学校定時制中期ビジョン（5か年計画）
白神山地の麓、米代川の畔に学ぶニツ井キャンパス生
（世界自然遺産白神山地の玄関口JRニツ井駅から300メートルに位置する校舎）

【本校の現状と課題】

現状：県の再編計画により令和3年4月、能代高校昼間部定時制（ニツ井キャンパス）として、普通科35名を募集定員に開設された。学力や社会性の向上を目指して、地域と連携しながら、様々な学習活動に取り組んでいる。

課題：地域との連携により、多様な生徒のニーズに対応し、社会人として自立し、地域貢献ができる人材の育成を目指し、より実効的なキャリア教育を実践する必要がある。

【学校を取り巻く将来の状況の予測】

少子化の流れの中で、広域から多様な生徒が集まるコンパクトな学校となり、生徒一人一人に対応したきめ細かな指導で基礎学力定着を図り、地域の体験的学びにより、主体的な協働と地域づくりに参画していく態度を育むことで、地域の教育ニーズに応えることが求められる。

道の駅「ふたつい」整備によるニツ井地域の観光振興の流れの中で、町の活性化にも寄与する学校として地域と連携したさまざまな取り組みを実践し、存在感を示す必要がある。

【本校のスクール・ポリシー】

【グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）】

上記の現状と課題をふまえ、社会の一員としての自覚を持ち、自分を律し、他者を思いやり、周囲と協調しながら、目標に向かって努力することができる人間を目指す。

【カリキュラム・ポリシー（本校の学び）】

キャリア教育の実践として、「学力の向上」、「生活習慣の確立」、「社会性の形成」を3つの柱とするカリキュラムを展開する。行動目標として「ニツ井スタンダード」を定め、本校の特色である、「習熟度別・少人数学習」、「白神プロジェクト」、「ボランティアやインターンシップ」を効果的に行うことで、目指す人間像に近づける。そして、それを支えるのは、日々の各教科・科目及び総合的な探究の時間であり、授業の心得【生徒編】と授業の心得【教師編】はそれの裏付けの活動となる。そして、保護者・家庭との連携や、地域との連携は、キャリア教育を充実させる要素として、教育活動に取り入れていく。

【アドミッション・ポリシー（求める生徒像）】

- 1 基本的な生活習慣が身に付いている生徒。
- 2 卒業まで学業を続ける強い意志をもって、毎日の学習活動等に対して取り組むことができる生徒。

【グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）】

社会の一員としての自覚を持ち、自分を律し、他者を思いやり、
周囲と協調しながら、目標に向かって努力することができる人間

【カリキュラム・ポリシー（本校の学び）】

学力の向上

- 授業の規律を守ることができる
- 授業で自分の考えを積極的に発言することができる
- 家庭学習を自分で計画的に行うことができる

生活習慣の確立

- 元気よくあいさつ、返事をする
ことができる
- 身だしなみを整え、ルールを守って生活することができる
- 自分の持ち物を管理し、身のまわりを整理整頓することができる

社会性の形成

- 責任を持って自分の役割を果たすことができる
- 相手の話を聞き、自分の考えをしっかりと伝えることができる
- 集団の中で互いに理解し合い、協力し合うことができる

習熟度別・少人数学習

白神プロジェクト

ボランティア・インターンシップ

各教科・科目及び総合的な探究の時間

授業の心得【生徒編】

- ☆ 時間を守りましょう
- ☆ さわやかな整容で授業を受けましょう
- ☆ 正しい姿勢で授業を受けましょう
- ☆ さわやかな言葉で発言しましょう
- ☆ さわやかな環境を作りましょう

授業の心得【教師編】

- ☆ 時間を守りましょう
- ☆ 明確な到達目標を提示しましょう
- ☆ 思考力・判断力・表現力を育てましょう
- ☆ 主体性を育てましょう
- ☆ 適切に評価しましょう

部活動

学校行事

生徒会活動

L H R

保護者・家庭との連携

地域との連携

【アドミッション・ポリシー（求める生徒像）】

- 1 基本的な生活習慣が身に付いている生徒。
- 2 卒業まで学業を続ける強い意志をもって、毎日の学習活動等に対して取り組むことができる生徒。

【5年間を通しての具体的目標】

本校の生徒や地域の状況に応じた体系的・実効的なキャリア教育を確立し、全職員でその推進に努めることにより、次の目標を達成します。

- ① ICTを積極的に活用し、キャリア教育の視点に立った授業改善を進めることにより、70%を超える生徒が学習状況調査において「授業では、生徒同士で意見交換したり、自分の考えを発表したりする活動をよく行っていると思う」と答えることを目指します。
- ②年に4回実施する「ニッ井スタンダードチェックテスト」において、80%を超える生徒が自己評価を高められるようにします。
- ③各種検定試験の取得に取り組ませ、上位級合格者1人以上を目指します。
- ④全県定通体育大会等で優勝し、全国大会に出場選手1人以上を目指します。
- ⑤生徒一人一人に応じた個別の指導を計画的に行うことにより、希望進路の達成率100%を目指します。
- ⑥3年間で、社会性や人間関係形成能力等を高めることにより、卒業後1年以内に離職する卒業生の割合を10%未満にします。
- ⑦学校評価のアンケート調査において「学校生活は楽しいですか。ニッ井キャンパスに入学してよかったと思いますか。」という問いに「思う」と答える生徒が「ふつう」「思わない」と答える生徒を上回ることを目指します。

【具体的な取組】

- ①「授業の心得【生徒編】・【教師編】」を定め、全生徒、全職員が励行することにより、規律ある学習環境の中で、社会生活で求められる力を主体的に高める生徒を育成します。
- ②生徒たちの行動目標「二ツ井スタンダード」を定め、それに準拠したセルフチェックテストを年4回実施することにより、自分の成長を確かめながら新たな目標に向かって努力する生徒を育てます。
- ③習熟度別、少人数学習を推進し、互いに学び合い高め合うことのできる授業を実践することにより、思考力・判断力・表現力等の向上を図るとともに、望ましい学習集団づくりを進めます。
- ④授業者と学習サポーター等によるチームティーチングを行い、一人一人の学びのつまずきを取り除くことにより、個に応じた着実な学力向上を支援します。
- ⑤1年次から郷土理解を深める地域塾や、インターンシップ学習、ソーシャルスキルトレーニングの内容を盛り込んだ「総合的な探究の時間」を実施することにより、郷土理解と社会性の伸長を図ります。
- ⑥学校種を超えた連携体制の下で校内研修を充実させることにより、誰にでもわかりやすいユニバーサルデザインの視点に立って、多様性や変化に合わせて柔軟に対応できる、二ツ井キャンパスの授業スタイルを確立します。
- ⑦年に3回の面接月間に加え、「思いやりアンケート」を年5回実施することにより、生徒の日常的な生活状況や心の変化の把握に努め、いじめや問題行動等の早期解決を図ります。
- ⑧白神フィールドワーク、招へい講座、白神検定、フォトコンテストなど「白神プロジェクト」の内容を充実させることにより、生徒たちの地域への愛着と郷土への誇りを醸成します。
- ⑨「きみまち二ツ井マラソン」「福祉施設との合同避難訓練」「生徒会役員選挙実践投票」など、地域と連携した体験的な活動を充実させることにより、地域社会の当事者としての自覚と責任をもった生徒を育てます。
- ⑩定時制課程（昼間の部）の学校生活をホームページ等に掲載し、各中学校の生徒、保護者、地域の方々に学校生活や取組内容の周知を図ります。

令和3年4月策定
令和5年5月一部改訂